

平成26年度事業総括

施設長 浜川寿一

人生80年とした場合、心理的時間の折り返し地点は大体17歳前後ぐらいと言われているそうです。そう言われてみれば子供の頃は、一日は早いけど一年という時間の流れは随分と長く感じたモノです。子供の頃は日々が新しい経験でしたが、大人になると日々が割とルーチンの（つまり、変化・刺激が少ない）になるので、そこら辺が心理的な時間の長さに影響をあたえるのかなあとも感じます。実際、10代より20代、20代より30代、30代より40代、40代より50代（←まだ未経験ですが）・・・年を重ねる毎に10年という時間のスパンを加速度的に早く感じてしまっています。ですから、先ほどの「心理的折り返し地点」の話が出てくるのでしょうか。

拙速は巧遅に勝る・・・変化こそ唯一の永遠・・・万物は流転する・・・等々、先人達の知恵を教訓とし「素早い決断、素早い行動」を基本に施設を運営してきました。時には、間違っただけの判断があったかもしれませんが、しかし、間違いに気づいたら「ごめんなさい」と謝り、修正すれば良いだけのことだと思います。修正の効かない致命的なミスなど人生においてそんなに多くはないと思います。それに「”正しさ”とは何か」「”間違いの無い判断”とは何か」の判断基準は時間の経過によって変わる場合も多いコトは日々実感しています・・・この世に絶対的に普遍のモノはない・・・だから「変化こそ唯一の永遠である」となるのでしょうか・・・まあ、理屈を捏ねればこの格言自体が自己言及のパラドックスを内包しているように感じるのですが・・・

あらゆるモノ事に対して熟考することは当然ですが、時間ばかりかけてダラダラと結論や行動を先送りにしているだけでは物理的な時間もロスするし、問題解決自体の阻害要因がより多くなってしまいうコトも私は経験しています。

現在、やすらぎの里では「建物の老朽化に伴う大規模改修の必要性」と「平成27年4月からの介護報酬”激減”改定に伴い、給与改定をも含むコスト削減の必要性」・・・2つの大きな問題を抱えています。今年度は、この2つの問題をクリアするための準備期間でした。来年度は具体的にアクションしていく年となります。これらのプロジェクトの完結については、自分の思い描いていたイメージより2年も余計に時間を費やしてしまいました。情けないコトに自分の行動が「拙遅」になってしまっていたようです。

拙速は巧遅に勝る・・・変化こそ唯一の永遠・・・痛感する今日この頃であります。

*しかし、やすらぎの里介護論においては実際の”介護”に関してだけは「拙速は巧遅に”激しく劣る”」としています。

1月28日、訪問の「初流梅吉」さん、すばらしい日本舞踊に利用者さんも大喜びでした



久しぶりの対面に喜びもひとしお



しなやかで迫力のある踊りにうっとり

2月3日、節分の日「やすらぎの里」は大盛り上がり



特養では3匹の鬼が大暴れ



デイサービスも負けてはいません!! 豆まきならぬ玉入れゲーム!?



食事も豪華な箱膳



3月5・6日、神津中学3年生体験学習



中学生の皆さん
楽しいひとときを
ありがとう





ひな祭りバイキング



どれにしようかな



3月14日、防犯協会訪問

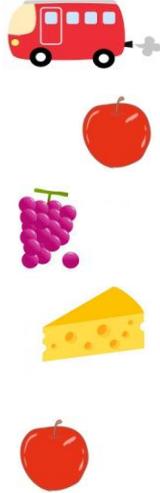
毎年、ありがとうございます



生活支援ハウスの様子（日曜日）



朝はバイタルチェック



週に1回のお買い物



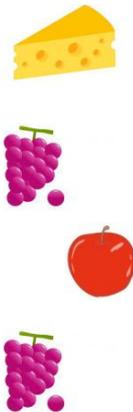
皆さん商品選びに一生懸命



次は何を買おうかな？



果物も買いますよ

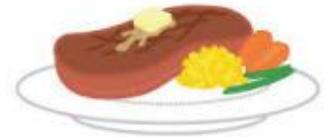


帰ってきたら昼食

温冷配膳車、使用開始



暖かい物は暖かく、冷たい物は冷たく



編集後記

手探り状態で始まった広報誌、慣れないことに苦戦しながらも部員のみんなと楽しい一年を過ごしました。長いようで短い一年でした。少しでも皆様が楽しんでくださったならうれしいです。

梅田 泰子

多幸湾にきたクジラに会えずとても残念でした。広報誌作り、部員の皆さんに頼りっきりの一年でした。やすらぎの里の利用者様がわいわいがやがや明るく過ごしている様子が、村民の皆様伝われば幸いです。

三谷 理絵子

何もわからないまま引き継ぎ、前年度の広報誌を参考にしながら「ここはこうの方が見やすいよね、ここにイラストを添えたら明るくなるかな？」等意見を出し合いみんなで楽しく作り気づけばあっという間の一年でした。

中村 真由美

3人に任せきりでした。いろいろ試行錯誤のなかで広報誌を作り上げることができました。皆さまに読みやすく親しみを感じて頂けたら幸いです。

武藤 晃子

平成26年度を振り返り

地域活動支援センターに移行し三年目の今年度は様々な活動に取り組みました。

「攻めの地活！」をテーマに収入倍増計画を掲げ、作品の売上については前年度の12万円から、24万円と、目標を達成することができました。

これはご利用者の努力もちろんですが、村役場、観光協会、潮彩の会、だいじんこ、をはじめとして多くの関係機関のご協力、また村民の皆様のご協力により達成できたことであり、この紙面を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

来年度も引き続き作品販売にも力を入れていきます。

このほかにも今までの里だよりで報告しました通り、施設の車両清掃、外回り清掃を受託し、職員の車両清掃や、まっちゃあれセンターでの夏期出張販売、島内外イベントへの出店、ブログの開設、ネット販売などにもチャレンジし、作品売上以外でも約42万円の収入UPができ、まさに「攻めの地活！」は大成功だったのではないかと、思います。

27年度もこれに甘んじることなく、新たな事業も行いながら、ご利用者がこの地域で自立した生活ができるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、今後も村民の皆様、関係機関の皆様のご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

まっちゃあれセンターで



島外学習旅行 野口英世記念館で



ブログのアドレスは <http://blog.goo.ne.jp/tikatukozu> です。是非アクセスして見てください。

なお、地域活動支援センターへのご意見などありましたら、下記連絡先へお問い合わせ下さい。

神津島村地域活動支援センター 04992(8)0378 (月～金) 8:30～17:00

(鈴木 明男 記)